

姉体小学校

児童数 213人
所在地 水沢姉体町字京原 70番地 ☎ 2033



姉体小学校の学区は、胆沢扇状地の先端部にあたり北上川西岸に沿って、南北に6.1キロ、東西に2.4キロの細長い平たんな土地です。過去に北上川の氾濫により水害のあった地域でしたが、現在は豊かな水田地帯になっています。

学校は、学区の中央部にあり、水田に囲まれています。近年、新興住宅地「マイアネタウン」の人口が多くを占めるようになりました。

学校通信

伝統の姉体音頭

毎年、運動会では全校児童と保護者、教職員で伝統の姉体音頭を踊っています。今年も、運動会での発表に向けて、姉体音頭が作られた当時を知る倉成清子さんをはじめ、3人の方に姉体音頭を教えていただきました。おかげで、今年の運動会でも上手に踊ることができました。



学校では児童会を中心に、基本的な生活習慣を身につける取り組みとして「3あ運動」の達成を目標として掲げています。「3あ」とは、「あいさつ」「歩き方」「後始末」を指しています。本年度は「あいさつ名人」という取り組みで、さらにあいさつの質を高める取り組みを進めています。

また、命を守る取り組みとして「交通安全1000日運動」を行ってきました。現在まで6回達成し、そのうちの1回は2000日を達成しています。達成したときにはダルマに目を入れ、達成記念式を開催しています。子どもたちは、次の達成を目指して、全校で交通安全を意識して生活しています。



明るく元気にあいさつしています

スクールバンド

学校には寄贈された金管楽器がそろっていて、5、6年生全員でスクールバンドを編成しています。学校の運動会と地区民運動会で披露し、金管楽器に触れる良い機会となっています。6年生が4年生に楽器の扱い方と演奏の仕方を教えることで、先輩から後輩へと引き継がれてきました。

P T A資源回収も楽器のメンテナンスにとっても役立っています。



My Dream

あおさわ ひらく
青澤 拓 くん
(6年)

— 学校での役割は？

計画委員長です。あいさつを盛んにしたり、姉小ライブ(みんなで出し物を紹介し合う会)などを企画して、明るい学校にしたいです。

あいさつ運動

あいさつチャンピオン
5年生

あいさつの達人
3年生

あいさつの名人
4年生



—好きな教科は？

理科と体育です。理科でジャガイモの葉のデンプンの量をヨウ素液を使って比べる実験をしました。このように予想を立てて、実際に確かめる学習が大好きです。

—将来の夢は？

ドラえもんに出てくる「どこでもドア」や「コピーロボット」のように、便利でみんなが楽しめるものを作れる人になりたいです。

「夢と希望」プロジェクト

本校出身の二刀流で有名な大谷翔平選手は、現在アメリカのメジャーリーグに挑戦し活躍しています。その大谷選手を通じた教育活動を行うことで、自分の将来に向けた思いを抱ききっかけとし、夢や希望につなげていこうとする取り組みがこのプロジェクトです。道徳の学習の中で自身の目標を考えたり、大谷選手への励ましの手紙を送ったりする予定です。



校舎に掲示した横断幕。最近は見に来る人が増え、隠れた観光スポットになっています

いいところ、知っとこ おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



小山地区

拠点 小山地区センター
(胆沢小山字道場 40番地 1 ☎ 0134 FAX 0144)

小山地区は、胆沢扇状地の西南部に位置する農業地帯です。東部は農地と住宅地の混住化が進み、中部から西部にかけてはのどかな田園が広がります。民家の周りには「エグネ」と呼ばれる屋敷林があり、扇状地に点在するその風景は日本三大散居集落の風情を醸しています。

小山地区振興会は平成20年に設立され、以来「三世代ふれあいのまち おやま」を合い言葉に各種活動を展開しています。本年度は「振興会事業の充実と広報活動の強化」「自治会、各種団体・同好会などの自主活動の助長と支援」「地区センターの利活用の促進」の3つを基本方針に掲げ、地域の振興・発展に向け取り組んでいます。

葦名(二ノ台)堰 四百年記念事業

葦名(二ノ台)堰は、今から400年前、元和4年(1618年)に衣川領主であった葦名氏が小山二ノ台地域への通水を目指して開削し、60余年の歳月を経て完成されたといわれています。衣川増沢から水源を求め、堰はサイホン方式を交え、平堰と穴堰15カ所ずつ交互に開削された、総延長24^{km}余りの偉大な史跡です。

開削400年を迎え、地域の中核的農業者や葦名堰史跡保存会が実行委員会(高橋重一委員長)を立ち上げ、記念碑の建立、記念誌の発刊などに取組み、11月11日(日)には記念式典、祝賀会が計画されています。



「葦名(二ノ台)堰」最終湧出口の確認作業の様子

小学4年生から6年生までの24人で構成する「わんぱく少年隊」。本年度は「小山探検サイクリング」「サマーキャンプ」「料理教室」「英語でクリスマス」「冬の遊び」に挑戦します。宿泊研修も行いながら郷土の歴史や文化などを理解し、集団生活を通じて役割を果たすことや規律を守ることの大切さを学びます。



「小山お宝マツ」で探検開始!



9月2日に開催する「三世代ふれあい広場」は、32回の歴史を有する振興会の代表的なイベントです。小中学生から一般、高齢者まで男女世代混成のチームによる22行政区対抗の5種目競技(三世代UFOリレー、ボール送り、ムカデ競走など)で行われ、老若男女1,000人程が汗を流します。

11月17、18日に開催する「地区センターまつり」は自己表現の場であり、組織力・地域力などを発揮し、高揚する場でもあります。自治会、団体・同好会や講座受講生などの作品展示(昨年は27団体・個人が展示)や演芸発表(15団体・個人が発表)をメインに、バルーンアート、お楽しみ大抽選会、ちびっこ菓子まき、豊年餅まきなど多彩で楽しいイベントを企画しています。皆さん、ぜひお越しください!

